



群馬県立尾瀬高等学校

理科部

地域のシカ問題を考える ～私たちの取り組む4つの行動～

貴重な植生が二ホンジカによる被害を受けています。今ある自然をこれからも残し、美しい景色を取り戻す活動を行っています。私たちは、「育て・増やす」「守る」「調べる」「伝える」の4つの行動をとりました。この活動を行うにあたり地域の多くの方々に関わりました。私たちだけで解決できることは多くなく、地道に粘り強く取り組んでいこうと思っています。



群馬県立藤岡北高等学校

環境工学部

小川の未来を考える

1998年藤岡市笹川で絶滅したと考えられていたヤリタナゴが発見された。群馬県内に唯一生息するタナゴとその生息環境を守るため、環境教育の活動拠点づくり、生息環境の維持管理、市民の皆さんとのタナゴプラットホーム構築の3つを活動目標に活動をしている。2021年7月に藤岡北高校にてヤリタナゴ懇談会を立ち上げ、保護活動の継承と秘訣を継承している。



群馬県立沼田高等学校

赤谷の森くらぶ(赤谷プロジェクト地域協議会)

絶滅危惧種イヌワシの住む「赤谷の森」にドングリの森を復元する

赤谷の森は奇跡の「ホットスポット」で北方系の寒冷地に生息するイヌワシと、熱帯雨林を起源とする南方系のクマタカが同じ場所で、しかも「人のくらし」と隣り合って「共存」している。このため「ユネスコ・エコパーク」にも国際登録された。私たちは赤谷の森をドングリの森に復元する植樹を決行。ドングリの苗は自分たちで種から育てて「イヌワシ保護地」に植樹した。



千葉県立長生高等学校

サイエンス部生物班

茂原公園のカメについて学ぼう

茂原公園の弁天湖で、カメとふれあう体験、カメに関するクイズ、カメの見分け方のコツなど、学びながら楽しめる講座を地域の小学生とその保護者の方を対象に行っています。実はその多くが外来種のミシシippアカミミガメであり、外来種問題を単純な問題としてとらえず、命の大切さを基本にして考えられるきっかけを提供できるよう、活動しています。



千葉県立松戸国際高等学校

松国1年有志

Enjoy volunteering

私たちは有志は参加者みんなが楽しめる仮装して清掃する「ハロウィン清掃ボランティア」を企画しました。

①普通科と国際教養科、科の壁を越えて学年全員が楽しめる。②普段手の届かない場所を掃除することで、みんなが過ごしやすくする。③ハロウィンの文化と歴史をALTの先生から学び、異文化を敬うことができる。結果、50人の生徒が参加！「Enjoy Volunteering」です！



千葉県立松戸南高等学校

"Team Quad-E(Ecological Environmental Engineering Education)

地域の生態系保全のための技術の研究 ～パートナーシップでSDGsを～

千葉県では絶滅危惧種となってしまう、ハイケボタルやトウキョウサンショウウオ、フジバカマやガシャモクといった在来種の域外保全を行いながら、地域の活動団体などから依頼を受けて、電源を必要としない水を汲み上げるポンプを開発設置し、井戸を掘り、生物調査の手伝いなどを行っている。また、手賀沼の生態系環境を保全するために幅広く活動している。



埼玉県立杉戸農業高等学校

土と緑を育むプロジェクト

杉農園芸科×SDGs 持続可能な農業の実践

持続可能な農業の実践に向けて3つの活動を行っています。【雑草たい肥の普及】河川整備の際に排出される雑草をたい肥にして活用しています。【Global G.A.P.の認証】令和2年から認証を受けています。【子ども食堂・フードバンクへの食材提供】授業で作りすぎてしまった野菜などを子ども食堂に提供しています。農業も環境も人もすべてつながっていることがわかりました。



大森学園高等学校

おもちゃの病院

私たちが行っているボランティア活動

私たちは、近隣の子供たちのおもちゃを修理するボランティア活動を行っています。このコロナ禍でも何かできないかと考え、非接触型体温計と殺菌ロボットを設計・製作を始めました。非接触型体温計が無事完成し、学校で行われるイベントで活躍しています。コロナ禍だからこそできることを見つけ、モチベーションを高めながら日々精進していきたいと思えます。



東京都立府中東高等学校

生物部

府中市多摩川における外来植物の分布について ～アレチハナガサの拡大～

多摩川河川敷では、在来草本群落が絶滅危惧種となり完全に消滅したと報告されています。私たちは、河川敷内の7地点を調査地点とし植生調査を行い、外来生物が最も多かったのは高水敷の数、多かった外来植物はセイタカアワダチソウ・アレチウリ・オオバクサ・アレチハナガサなどであることがわかりました。今後、多摩川の生物多様性を守る活動に繋げていきます。



聖心女子学院高等科

プラスチック・フリー・キャンパス PFC

校内外でのプラスチックの使用を最小限に抑える啓発活動

プラスチック・フリー・キャンパスは、「校内での必要以上のプラスチックの使用をなくす」、「生徒が主体性を持って行動を起こす」、「学校全体を巻き込んで積極的に情報発信する」という3つの目標のもと、活動を行っています。今まで、プラスチックフリー製品の販売によって、実際にプラスチック使用の削減に働きかけるなどの活動を行ってきました。

